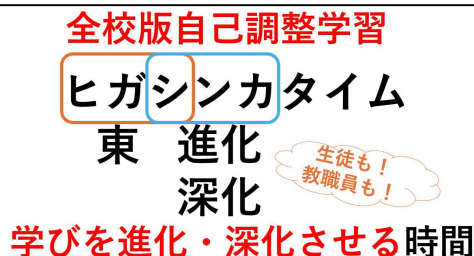


R8 ヒガシンカタイム通信①

今年度も「ヒガシンカタイム」始動!!!!

今年度もやります!! ヒガシンカタイム!! 今年度のテーマは「深化」です。

これまでの「進化」から一歩進み、学びをより深めていきます。「深い学びとは何か」を生徒と教職員がともに考え、実践と振り返りを重ねながら、よりよい学びへとつなげていきます。



<目的>

- ・人生 100 年時代 生き方が変わってきている今、必要な「**学び続ける力**」
- ・社会や技術の変化に対応する・変化を生み出すための「**自ら学ぶ力**」
- ・「座っていれば先生が教えてくれる」から「**自分で学びを創り出す**」学習の転換

<内容>

- ・1 コマ 50 分間で「**何を・誰と・どこで・どうやって学ぶか**」を**自分で決定**
- ・図書館・理科室・中庭・教室など**好きな場所**で学習
- ・一人で集中・友達と協力・先輩後輩と教え合うなど、**多様な学び**が可能

<オリエンテーション>

4月23日(木) 全校生徒が体育館に集まり、ヒガシンカタイムオリエンテーションを行いました。2・3年生から昨年度の体験談が紹介されると、1年生は「こんな学び方もあるんだ!」と目を輝かせていました。初めてヒガシンカタイムに挑戦する1年生も積極的に発言し、会場は前向きな空気に包まれました。1年生の感想には、「初めてのヒガシンカタイムで緊張するけど、新しい環境でも集中して勉強できるように頑張ります!」と力強い決意が見られ、これから始まる学びへの期待の高まりを感じる時間となりました。



<第1回ヒガシンカタイム>

記念すべき第1回ヒガシンカタイムのテーマは「まずはやってみる!」。1年生にとっては初めての挑戦でしたが、「ゴール設定→学習→振り返り」の流れを理解し、それぞれが自分なりの学びをスタートさせました。学習場所も教室や図書室、パソコン室、ウッドデッキなど多様で、自分に合った環境を選んで取り組む姿が見られました。

1人で集中する生徒、仲間と教え合う生徒、学年を越えて関わる姿もあり、「自分たちでつくる学び」が広がっていました。振り返りからも前向きな声が多く、充実した時間となりました。



<教育課程柔軟化サキドリ研究校に指定されました>

東中学校は、令和8・9年度の2年間、文部科学省から「教育課程柔軟化サキドリ研究校」の指定を受けています。ヒガシンカタイムを”裁量的な時間”として教育課程のなかに位置付け、多様な子ども達一人ひとりの可能性を引き出しながら、個別最適な学びと協働的な学びを通して「深い学び」を確かなものにする教育の実現を目指し、研究を進めていきます。

東中は、ここから未来の学びを創っていきます! 今後の広がりにご期待ください!